

# 令和 7 年度

## 事業計画及び収支予算書

一般社団法人 あまがさき観光局



## 令和7年度事業計画 ～地域とともに観光推進を～

### I 主旨

一般社団法人あまがさき観光局は、平成30年3月26日設立以降、地域の魅力と価値の向上や交流人口の増加、都市イメージの転換を目指し、地元関係者や観光関係者との連携関係を構築しつつ観光地域づくりの取組を進めてきたものの、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような事業展開ができない期間が続いていたところである。

令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症に見直され、ようやくまちなかのイベントなどの賑わいが戻ってきたところである。

令和7年度は、いよいよ「大阪・関西万博」オープンという好機を活かしてインバウンド需要獲得のため海外向け観光情報サイト「アリババ」への情報掲載や多言語パンフレットの配架などインバウンド向けコンテンツを造成するほか、大阪観光局と連携し大阪に滞在中もしくは滞在予定の外国人に対して誘客を促進するコンテンツを造成し来阪観光客の尼崎への来訪を積極的に展開する。

また令和6年度末に阪神大物駅前ゼロカーボンベースボールパークのオープンや阪神尼崎駅前中央公園のリニューアルオープンやなど多様な地域資源を活かして阪神大物～阪神尼崎周辺を周遊する謎解きイベント実施など誘客を図ることができる魅力あるコンテンツや観光コースを創出する。

他には、観光地域づくりを戦略的に取り組むために、多様な関係者の巻き込みやデータに基づく科学的アプローチ、情報の共有による観光DXの推進など効率的・効果的仕組みづくりを構築していく。公式ホームページの閲覧者のうち何人が実際に尼崎に訪れているのかスマートフォンデータを使って試験的に計測したり、デジタルマップ利用者から得られる回遊状況データや来訪者属性データ、ホテルでの宿泊者向けアンケート結果など数的エビデンスを基に効率的・効果的な誘客や賑わいづくりを創出していく。

文化観光事業においては、文化観光拠点として令和6年度に「尼子騒兵衛漫画ギャラリー」と「開明 rooms」を開設した。令和7年度も引き続き、この2つのギャラリーを活用して展覧会を中心としたイベントを実施し全国から観光客を誘致していく。

令和6年度からスタートした参加型フォトイベント「あまトリ」は参加型フォトイベントでフォトコンテストの他、写真ワークショップ、普段や撮影できない場所の開放、コンテスト終了後には応募作品を展示する「あまトリアルバム展」の開催など誰もが楽しめる魅力的なコンテンツを活用して京阪神を中心とした関西圏からの集客事業として令和7年度も引き続き実施する。

その他、工場夜景や尼崎城2階VRシアター上映、オリジナル商品の企画・販売など尼崎

ならではの魅力を活用した文化観光事業を発信していく。

## 1 実施事業会計

### (1) 観光地経営事業

観光地域づくりの取組を戦略的に進めていくためには、多様な関係者の巻き込みや目的等の共有、科学的アプローチ、官民一体となった仕組み作りなどが必要である。

そのために観光局が関係者からの信用・信頼を得て「地域観光推進の核」として地域全体の収益向上を図るべく、来街者の地域における消費傾向や行動傾向等のデータを取得し、それらを可能な範囲で地域事業者にも開示していく。

また、引き続き、観光局自身も市からの補助金以外の運営資金の確保に向けて努力する。

#### ① データマーケティングに基づく事業推進

ア オンラインツールを活用した効果的な情報発信およびウェブマーケティングの推進  
A I T (A I for ツーリズム)やグーグルアナリティクス等を活用した分析に加え、公式ホームページの閲覧者のうち実際の来訪者数を試験的に計測することで、得られるデータをもとに一層の効果的な来街促進プロモーションにつなげる。

#### イ 観光動態調査の実施等デジタルマーケティング機能の強化

人流データ等の観光動態調査データに加え、デジタルマップの利用者から得られる回遊状況のデータや来訪者属性データ、ホテルでの宿泊者向けアンケートの結果等、様々なデータを駆使しながら誘客に向けた来訪者の動向把握に取り組む。

分析結果等については、エリアマネジメント事業者や地域事業者、商工会議所等とも情報を共有し、誘客や賑わい創出等の有効化を図る。

#### ウ 観光D Xの推進

データの共有、活用が、地域事業者と共に観光事業に取り組む基盤となるよう、市のデジタル推進課とも連携しながら観光D Xを推進する。

#### ② 教育旅行の誘致

学習指導要領の改訂に伴い、教育旅行においてもものづくりやS D G sに関連した探求型のプログラムが求められる中、尼崎にはそれらを学ぶには好適な事業者が多い。産業のまち尼崎ならではの特色を活かした誘客策として、令和6年度より「あまがさき探求プログラム」を全国の中学校・高等学校に向けてリリースした。「学べる町 尼崎」として一層の誘客を図るべく、引き続き学校へのアプローチを続ける。

#### ③ 万博関連事業

##### ア 外国人向けサイトへの観光情報掲載

##### 海外向け観光情報サイトの運営

アリババとるるぶが展開する海外向け旅行情報サイトに、尼崎の観光情報を掲載し、「大阪・関西万博」開催という好機を活かして尼崎への来訪者が増えるようインバウンド向けに発信する。

##### イ 万博期間中の来街促進

特に万博の来場者の増加が見込まれる夏から秋にかけて、尼崎市内でも注目度の高

いイベントを開催することで、一層のPR効果を狙い来街を促進する。

④ 大阪観光局との連携

大阪・関西万博を契機として、来阪観光客の尼崎への来訪を強力に促進するために、大阪観光局と連携してコンテンツの造成やプロモーションを展開する。

⑤ 土産物認証制度

観光・出張などで尼崎を訪問した際や、尼崎から市外へ行く際のお土産としてお勧めする尼崎を代表する定番商品を「尼みやげ」として認証する制度を令和4年度からスタートした。現在53商品を認証しているが、地域に存在する「尼らしい」魅力ある土産物を広く発掘・発信するため、引き続き土産物認証制度に取り組む。また市内外のイベント等でも市の魅力発信ツールとして、「尼みやげ」を活用したPR活動を展開する。

⑥ 専門人材の確保等

引き続き、物販・経理事業および情報発信、マーケティングのためのプロパー職員を確保することで、観光局の安定的な組織運営を目指す。

<予算>	経常収益	30,286 千円
	尼崎市補助金収入	30,286 千円
	経常費用	30,286 千円
	事業費	14,959 千円
	人件費	15,327 千円
	当期経常増減額	0 千円

(2) にぎわい創出事業

阪神尼崎駅周辺には、リニューアルする中央公園をはじめ、尼崎城、寺町や商店街、開業したばかりのゼロカーボンベースボールパーク等の多様な地域資源が存在する。大阪・関西万博の開催を契機に訪日外国人観光客を対象とするだけでなく万博終了後も、多様な地域資源を活かしての周遊性の向上や尼崎ならではの観光商品の開発などを行い、尼崎での滞在時間を延ばすとともに、消費の機会を創出する。

① 賑わいをもたらすコンテンツや観光コースの創出・発掘

事業者と連携し、城下町尼崎の歴史を生かしたコースや商店街巡り、ゼロカーボンベースボールパークのある大物駅周辺から阪神尼崎駅周辺までのウォーキングコースなど誘客を図ることのできる魅力あるコンテンツや観光コースを創出する。

② 地域や事業者と連携したにぎわい創出（イベントコミッション）

地域や事業者が中心となり、観光局と連携しながら、地域の魅力を継続的、定期的に発信し、かつ周遊を促すイベントの実施・実現に取り組む。

- ・ コーヒーフェスティバル、アマワールドフェス、尼崎まち灯り等

<予算>	経常収益	114 千円
	尼崎市補助金収入	114 千円

経常費用	114 千円
事業費	114 千円

当期経常増減額 0 千円

### (3) 観光情報発信事業

ユーザー側のさまざまなニーズに対応した効果的な情報発信を推進する。例えば、ユーザーがいかにか早く、簡単に求める情報にたどり着けるか、誰にとって有益な情報か、いつ届ける情報かなど、媒体ごとの役割分担を明確にし、細かな施策を数多く展開することでユーザーの手元まで情報が届くことを強く意識した取組を展開する。

#### ① 観光情報インフラの整備・保守

あまがさき観光局公式観光ホームページ、SNSの運営・保守

ホームページ、SNSともに観光局の貴重なオウンドメディアとして、情報発信力を高め、媒体としての価値を向上させることが重要である。

観光局ホームページについては、引き続きSEO対策を強化し効果検証する等、分析結果等に基づき、ユーザーの視点に立った分かりやすい情報発信に取り組むことで多くのターゲット層にリーチする。またSNSについても、発信ごとの反応を検証することで、安定的なフォロワー獲得と拡散力向上を目指す。

#### ② 食をテーマとした情報発信

観光地ではない尼崎を訪れる目的の一つとして有力なコンテンツ「食」に関するPRを展開している。

令和7年度も、引き続きホームページやSNSを通じて市内飲食店の情報発信を積極的に行っていく。また関西学院大学ゼミ生との協働事業としてグルメ情報を発信及びイベント開催など実施していく。

#### ③ 多様な媒体の活用による情報発信

ホームページやSNSを通じた情報発信のほか、ウェブ広告やマスメディアの活用、各種パンフレット作成などターゲット層に的確に訴求できる媒体を活用し、旅マエの誘客促進および旅ナカの周遊促進を目的とした周知PRを効果的に行う。

#### ④ 施設や地域団体等との連携

総合文化センター、歴史博物館、尼信会館といった各施設に加え、尼崎商工会議所や(公財)尼崎地域産業活性化機構、(公財)尼崎緑化公園協会、地域金融機関といった地域に根差した団体等と連携を密にすることにより、より効果的なプロモーションを展開する。

#### ⑤ あまがさき観光案内所との連携

阪神尼崎駅北側の中央公園にあるあまがさき観光案内所(以下「観光案内所」という。)、JR尼崎駅構内の観光案内コーナーの運営について、指定管理者(エリアマネジメント事業者)と連携しながら取り組む。

#### ⑥ インバウンド向け施策

ア 訪日外国人向けのウェブマガジンへの掲載や、大阪観光局管轄の観光案内所での多言語パンフレットの配架等、大阪に滞在中、もしくは滞在予定の外国人に対する誘客を促進する。

イ 尼崎に滞在中の訪日外国人向けに、重点取組地域を中心とした店舗情報付きの観光マップを作成。観光案内所やホテル等で配布し、周遊の促進と消費額向上を図る。

＜予算＞	経常収益	30,286 千円
	尼崎市補助金収入	30,2862 千円
	経常費用	30,286 千円
	事業費	14,959 千円（うち 6,500 千円は万博関連事業）
	人件費	15,327 千円
	当期経常増減額	0 千円

#### (4) 文化観光推進事業

文化観光の取り組みについては、平成 29 年に文化芸術基本法（旧文化芸術振興基本法）が、平成 31 年に文化財保護法が、令和 4 年に博物館法がそれぞれ改正され、文化芸術の観光への積極的な活用が求められるようになった。令和 2 年には文化観光推進法が制定され、より一層、文化拠点を観光に活用する地域には一定の補助金が交付されるなど、観光の中で文化コンテンツの重要性が高まっている。

また、昨今、旅行における一人旅の割合が増えており、それぞれ個々人が好きなものをファンとして追い掛けていく「推し活」や、ゆかりの場所を訪ねるいわゆる「聖地めぐり」、全国各地で展開されている芸術祭などの「アートツーリズム」などが観光消費においても重要な位置を占めるようになってきている。

そのような中で、令和 5 年度からあまがさき観光局においても「文化観光推進担当部（事業ディレクター 1、担当者 1）」を設置し、様々な事業を展開しており、令和 6 年度に開明庁舎に賑わいをもたらす観光の拠点とする取り組みの一つとして、尼子騷兵衛漫画ギャラリーを開設すると、全国から若い女性を中心とした観光客が尼崎を訪れるというこれまで見られなかった現象が起きている。また、オリジナル商品を企画・販売した購買部（物販）では、上映された新作映画の影響もあり、わずか数ヶ月で観光案内所や尼崎城での物販の年間販売額の数倍もの売上を記録している。

これらのことから、令和 7 年度においても引き続き、尼崎の個性である文化資源を活用したオリジナルコンテンツを創出・運用した観光に積極的に取り組んでいく。

##### ① 尼崎ならではの魅力を活用した文化観光発信事業

尼崎市出身・在住で、あまがさき観光局文化観光アドバイザーである国民的人気アニメ「忍たま乱太郎」の作者・尼子騷兵衛氏と SNS などでも人気の写真家・小林哲朗氏にご協力をいただき、「落第忍者乱太郎」や「工場夜景」、風景の中のネコ写真「おるね」

など活用し、尼崎ならではのコンテンツを活用した文化観光発信事業に取り組んでいく。

- ・「落第忍者乱太郎」のキャラクターライセンスの使用契約に基づく原画の活用
- ・Xフォロワー7万人以上の小林哲朗氏によるあまがさき観光局文化観光公式X「アート&ツーリズム」との定期的な投稿を依頼する
- ・工場夜景や「おるね」写真などを活用した発信
- ・他都市で開催するイベントなどに出展し尼崎の観光をPR
  - ▷石巻市の石ノ森萬画館で尼子騒兵衛原画展を開催
  - ▷アニメ&マンガ EXPO に出展
  - ▷お城 EXPO に出展
  - ▷九度山真田ミュージアムで原画展を開催
- ・尼崎城での集客イベントを開催し、有料入場者を増やす
  - ▷2階 VR シアターで新たな映像を上映する
  - ▷はんしんまつりへ参加と同日に尼崎城内で鉄道模型イベントの開催
- ・全国工場夜景都市協議会の参加し、各都市と連携し工場夜景都市の魅力を発信する
  - ▷工場夜景サミットへの参加
  - ▷全国工場夜景の日（2月23）に撮影ツアーなどのイベント開催する
  - ▷ツーリズム EXPO へ参加
- ・事業者等との連携
  - ▷市内事業者とオリジナル商品を企画・開発し販売する
  - ▷NHK 及び NHK エンタープライズと「忍たま乱太郎」活用した事業を調整していく
  - ▷昨年度「お弁当の淡路屋」と開発したあまがさきあんかけちゃんぽんのマンホール弁当をイベントで販売するなど PR していく
  - ▷JR 東海と「EX 旅先予約」で発売する商品を企画する
  - ▷キューズモールあまがさきと連携事業を検討する
  - ▷阪神バスと市内を周遊する連携事業を検討する

## ② 観光集客事業

### ア 新たな文化観光拠点の創出・運営

阪神尼崎駅前に位置し、尼崎城・尼崎市立歴史博物館エリアと寺町・商店街エリアとの中間地点という恵まれた立地にあり、観光の取組重点地域の中心地にありながら、これまで十分に活用ができていなかった尼崎市開明庁舎に、令和6年度、全国から集客をもたらす新たな文化観光拠点として尼子騒兵衛漫画ギャラリーと尼崎開明 rooms という2つスペースを開設した。令和7年度は年間を通じてこの2つのギャラリーを活用して展覧会を中心としたイベントを実施し、全国から観光客を誘致していく。

#### ・尼子騒兵衛漫画ギャラリーの運営

尼子騒兵衛氏の原画を活用した企画展を年2～3回開催するほか、購買部（物販ゾーン）で尼崎に来ないと手に入らないオリジナル商品を企画し、販売する。また、ギャラリーへの会員制度である尼崎虹の観光特使制度を運用し、尼崎へのリピーター獲



得を目指していく。

また、スピンオフ企画として、乱太郎コンテンツに関連するトークイベントなどを市内で開催する。

- ・ 尼崎開明 rooms の運営

現代アート、尼崎ゆかりの芸術家などの全国レベル活躍している作家の展覧会を開催し、市内外から集客を目指していく。

#### イ 参加型フォトイベント「あまトリ」の開催

令和6年度に尼崎発のオリジナルイベントとしてスタートした参加型フォトイベント「あまトリ」を令和7年度も開催する。「あまトリ」はスマートフォンなどで誰もが気軽に写真を撮る時代に、誰もが楽しめる参加型フォトイベントで、ジャンル、テーマに制限はなく、風景、人物、イベント、静物、動物、乗り物、お花、グルメなど、特定の1週間の間に尼崎市内で起こるすべての出来事が対象のフォトコンテスト。令和7年度も前年度に引き続き、期間中には日本を代表する若手写真家・浅田政志さんや小林哲朗さん、大阪芸術大学写真学科の吉川直哉さん、鉄道写真家の森誠さんら専門家によるワークショップの開催や普段は撮影することができない場所を開放する限定フォトスポットの設定を予定。コンテスト終了後にはすべての応募作品を展示する「あまトリアルバム展」を開催する。

尼崎で写真を撮り、尼崎のコンテストに応募し、尼崎で写真展を観るという何度も尼崎を訪れてもらうイベントであるため、ターゲットは京阪神を中心とした関西エリアからの集客を目指す。

##### 第2回あまトリ展概要案

開催時期 (あまトリ) 令和7年12月

(あまトリアルバム展) 令和8年3月

エントリー費 550円

写真家によるワークショップ

限定フォトスポットの開設

大賞ほか、各賞を設定

#### ウ 連携イベントの開催

- ・ 観光の取組重点地域内にある、尼崎市中央図書館と連携してゆかりの作家による講演会を開催する。

- ・ 尼崎の魅力を学生に感じてもらうため、関西の大学と連携して、学生による展覧会などを開催する。

＜予算＞	経常収益	18,119 千円
	尼崎市補助金収入	15,362 千円
	負担金収入	2,200 千円
	他会計繰入金収入	474 千円
	経常費用	18119 千円
	事業費	18,019 千円

人 件 費	100 千円
当期経常増減額	0 千円

## 2 その他会計

### (1) 物産品等卸売販売事業

「尼らしさ」を軸とした商品を尼崎の魅力発信ツールと位置づけ、尼みやげ認証商品やメイドイン尼崎などを積極的に PR し販売促進につなげ、市内経済の活性化を図る。

＜予算＞	経常収益	43,173 千円
	自主事業収入	43,173 千円（物産品等卸売販売収入）
	経常費用	43,173 千円
	商品仕入等	25,400 千円
	事業費	695 千円（消耗品）
	他会計繰出金	474 千円（実施事業会計へ移行）
	人 件 費	16,372 千円
	税	232 千円
	当期経常増減額	0 千円

### (2) 自転車駐車場事業

阪神尼崎駅周辺の不法駐輪対策や環境浄化活動として、路上自転車駐車場（自転車用 358 台、原付用 18 台、自動二輪車用 16 台）を運営している。今後も阪神尼崎駅周辺の不法駐輪対策や環境浄化活動に積極的に寄与するとともに、来街者等への利便性・快適性の向上に努める。

＜予算＞	経常収益	3,108 千円
	自主事業収入	3,108 千円（自転車駐車場利用料収入）
	経常費用	3,108 千円
	賃 借 料	1,139 千円（市道路占用料）
	人 件 費	1,969 千円
	当期経常増減額	0 千円

### (3) てらまちプロジェクト事業

開明庁舎を活用した取り組み（ワークショップ等）を行うてらまちプロジェクト協議会を支援することで市内外から当施設へ訪れる人々を生み出し、また、てらまちプロジェクト協議会に「機会や場所」の提供を行うことによって、関係団体と共に観光地域づくりを推進する仕組みを創出する。

< 予算 >	経常収益	1,701 千円
	自主事業収入	1,701 千円（開明庁舎使用料収入）
	経常費用	1,701 千円
	賃借料	1,701 千円（市開明庁舎使用料）
	当期経常増減額	0 千円

(4) 開明庁舎管理事業

令和５年度から開明庁舎の管理業務を市から受託。令和７年度から技術職員を週２日雇用し庁舎内の保守管理に努める。

< 予算 >	経常収益	2,903 千円
	自主事業収入	2,903 千円（開明庁舎管理事業収入）
	経常費用	2,903 千円
	管理費	10 千円（消耗品費）
	人件費	2,893 千円
	当期経常増減額	0 千円

(5) 市委託事業

① 文化観光資源を活用して、市事業を受託

オリジナル文化観光コンテンツを活用した市事業を受託し実施する。

ア 市商業観光課から委託を受け、ゼロカーボンベースボールパークを起点とした環境啓発型市内周遊謎解きイベントを開催する。

イ 地方卸売市場から委託を受け、取引店の認証制度におけるデザインとグッズの作成及び取引店と観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施する。

< 予算 >	経常収益	6,607 千円
	自主事業収入	6,607 千円（市委託事業収入）
	経常費用	6,607 千円
	事業費	6,607 千円
	当期経常増減額	0 千円

### 3 法人会計

#### (1) 法人運営事業

当法人の活動が、市内外からの来訪者や消費需要を呼び込み、市内事業者の事業活動へ繋ぎ経済波及効果をもたらし、地域の稼ぐ力を高めていくための取組となるよう、関係団体との連携を図り、円滑な事業運営に努める。

また、観光局機能を最大限に発揮できる人材の充実を図り、地域に信頼される組織を目指す。

<予算>	経常収益	7,192 千円
	尼崎市補助金収入	7,191 千円
	雑 収 益	1 千円（預金利息）
	経常費用	7,192 千円
	管 理 費	5,831 千円（事務所運営経費）
	人 件 費	1,361 千円
	当期経常増減額	0 千円